

# (仮称) 造幣局地区防災公園 ワークショップ 通信

## 第5回



豊島区では、造幣局東京支局(東京都豊島区東池袋4-42)の敷地の一部を、防災公園(約1.7ha)として整備する予定です。区では公園の基本的なプランをまとめるにあたり、公園を利用する方の意見を参考にするためにワークショップを行いました。

「第5回(仮称)造幣局地区防災公園ワークショップ」を3月14日(土)に開催しました。

最終回の今回は「ワークショップ報告会」ということで、ワークショップで検討した防災公園のプランのおひろめがありました。

### ワークショップの様子

第5回目は、13名の参加がありました。

まず、第1～4回のワークショップを振り返って、どのような意見が出されたかをおさらいした後に、防災公園のプランを描いた図面や模型などを使った説明がありました。

参加者が模型やスケッチを囲んで、プランを確認し、最後にワークショップとプランの感想や今後の利用・活動に向けて語り合いました。



### 参加者の感想

- こどもの遊び場だけでなく、高齢者にも配慮されているプランになった。今後、ゴミ捨てなどを地元と一緒に解決するようにやっていければよいと思う。
- 全ての世代が憩えるプランになった。花壇にバラを加えて季節を楽しめるようにしたい。
- 今後の運用の仕方が重要なので、考慮してもらいたい。
- 運用は、地域の町会やPTAなどでもつめていきたい。プランは総合的に良い感じだと思う。
- このプランを実現してもらいたい。完成後に参加者でお花見すれば、活動への気持ちが盛り上がると思う。
- タイトなスケジュールだったが、夢がある意見が多く参加して楽しかった。完成までに地元と公園での活動について話し合う機会があると良いと思う。
- 参加者の理想を全て実現するのは難しいと思う。少しずつかもしれないが取り入れてできたプランをみると、すばらしい公園になりそうだと期待している。
- 回を重ねるごとにイメージしやすくなり、意見が言えるように導いてくれたと思う。完成が楽しみ。
- 総合運動場を定期的に地域開放して、ボール遊びができるようにしてほしい。
- シンボルツリーなど素敵な案になった。素敵な公園で維持できるように管理してほしい。
- 様々な立場や年齢層の人の意見が聞けて貴重な経験となったが、参加者が減っていったのが残念。
- 参加者が増えるように、区のワークショップについて地元へ広報する方法を検討したほうがよい。
- 地元の方の話を聞いて勉強になった。これをきっかけに区の歴史を調べてみた。江戸時代には緑地で災害を防ごうとしていた。防災公園のような緑は区にとって貴重だと思う。

ワークショップで出された意見をまとめた公園のプランです。

(仮称) 造幣局地区防災公園ワークショップ 公園プラン

四季のまち みんなの広場

プランのキーワード

- 1 いつでもみんなが憩える
- 2 豊島区のシンボルになる
- 3 安心・安全に利用できる
- 4 災害に備える
- 5 みんなでルールを考えて利用しよう



模型：公園南東側からみた写真



模型：はらっぱから公園南西側をみた写真  
(池と管理事務所)



イメージスケッチ：はらっぱから築山と遊具のある遊び場側をみる



0 10 20 50m



イメージスケッチ：はらっぱから池と管理事務所側をみる

ワークショップでのプランがまとまりました。ワークショップに参加された方ならびにアンケート等にご協力いただいた東池袋第二保育園の関係者のみなさん、ジャンプ東池袋の利用者のみなさん、公園のイメージを描いてくれたスキップ朋有のみなさん、ありがとうございました。



\* スケッチと模型は、プランの図をもとに作成したイメージです。